

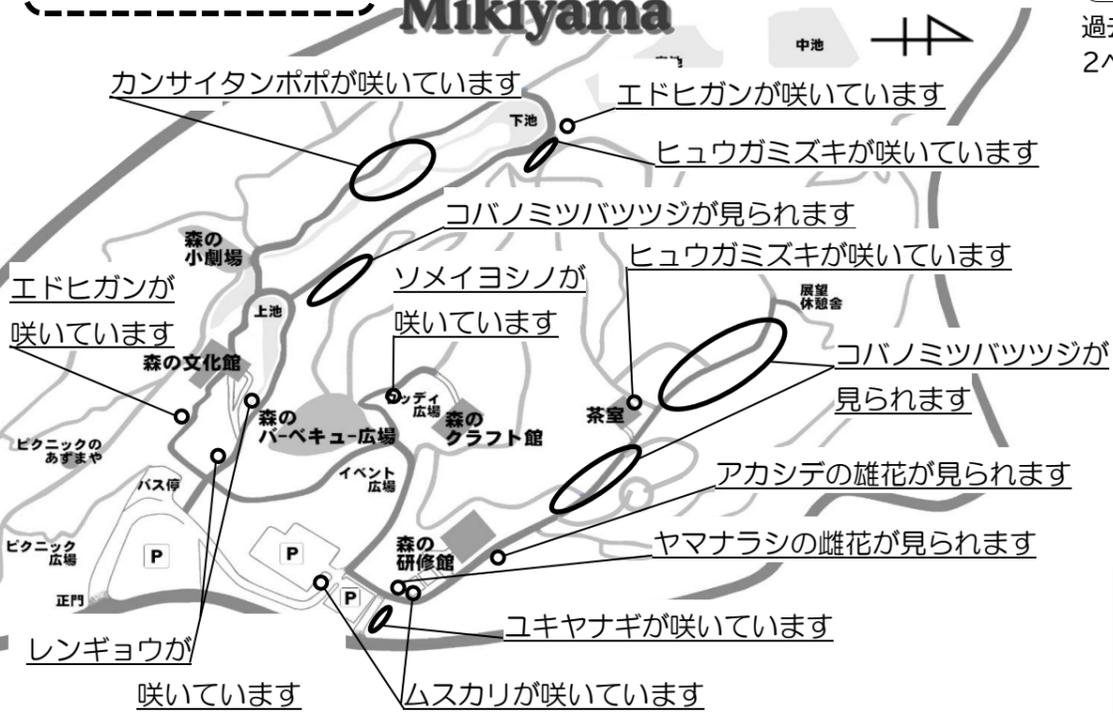
ホトケノザ、ヒサカキは園内各所で見られます。

みどころ Mikiyama

令和5年4月上旬

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



ソメイヨシノ (バラ科)
ウッディー広場のソメイヨシノが満開です。



エドヒガン (バラ科)

下池とエントランス広場のエドヒガンが満開です。ソメイヨシノの様にクローンではなく実生なので、個体によって花の色も異なります。萼筒(花びらの付け根)の基部が膨らんでいるのが特徴です。



レンギョウ (モクセイ科)

葉の展開前に開花します。雌雄異株で、写真は雄花です。



ヒサカキの花 (モッコク科)

ヒサカキの花には漏れたガスに似た独特の臭いがあります。



テングチョウ

(タテハチョウ科)

天狗の様に鼻の先がとがっています。今見られるのは成虫越冬した個体です。



カンサイタンポポ

(キク科)

日本の在来のタンポポです。外来のセイヨウタンポポと異なり、総苞片(花全体の基部を包むもの)が反り返りません。



コバノミツバツツジ (シジミ科)

里山の春を彩る紫色の花です。早咲きの個体が咲き始めています。



アカシデの雄花 (カバノキ科)

雄花は垂れ下がり、苞が紅色で美しいです。



ヤマナラシの雌花 (ヤナギ科)

ポプラの仲間で、葉が微風でも揺られて音をたてることからこの名前が付きました。5月頃綿毛のついた種子を散布します。



ホトケノザ (シソ科)

ピンクの可愛い花が園内各所で見られます。春の七草のホトケノザはコオニタビラコのこと、本種とは異なります。



ムスカリ

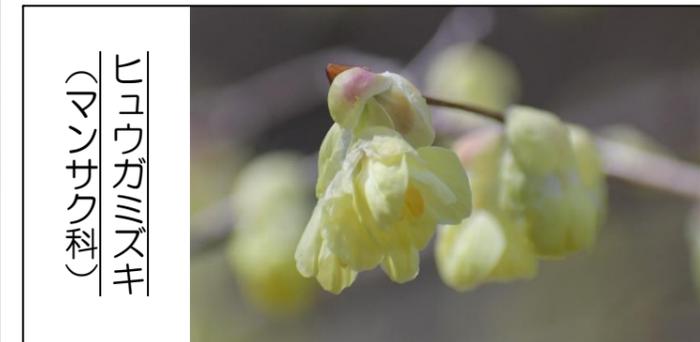
(キジカクシ科)

早春を彩る花の一つです。



ユキヤナギ (バラ科)

枝一面に咲く白い花が魅力的です。



ヒュウガミズキ (マンサク科)

花序には葉の展開前に淡黄色の花が1~3個付きます。